

●これまでの検討協議会の検討状況

「府中市基地跡地留保地利用計画検討協議会」では、利用計画の策定に関する事項について、平成29年10月から多くの議論が行われてきました。第1号でご紹介した内容以降に開催された協議会の検討状況について、ご紹介します。

なお、会議の詳細につきましては、市政情報公開室、中央図書館、白糸台図書館、西府図書館、ホームページでも公開しています。

第4回 第1回市民ワークショップの実施報告、公共主体の機能に係る市の考えの提示

平成30年4月26日に開催された第4回協議会では、市民の方々と共に意見交換した第1回市民ワークショップの結果を報告するとともに、公共主体の機能の導入を検討する際の市の考えを示し、ご議論いただきました。

協議会からは、「新たな価値を創造し、昼間人口の増加やにぎわいの創出を検討すべき」、「民間の誘致による税収増を図るべき」、「PPP等の民間活力の活用をするべき」、「民間機能と合わせた留保地全体のテーマの検討すべき」などのご意見をいただきました。

※ 第1回市民ワークショップの結果については、府中基地跡地留保地ニュース第2号もご覧ください。

公共主体の機能に係る市の考え(抜粋)

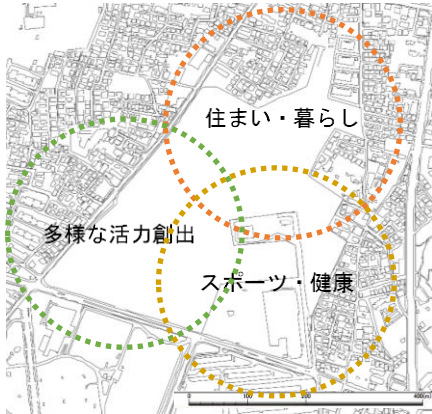
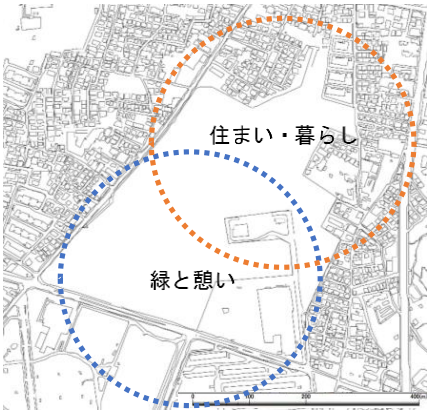
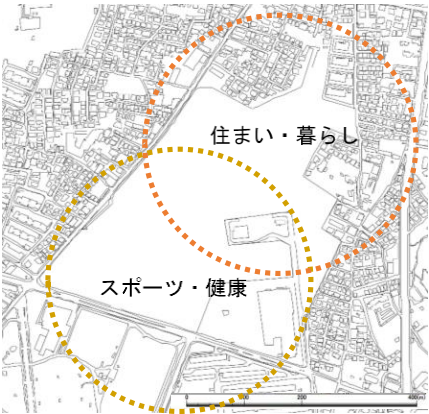
機 能	検討のポイントと評価	
	検討のポイント	評価
公園・緑地	市民要望が高く、周辺環境や緑の連続性に配慮できる。また、健康や防災等各種施策との親和性もあるほか、用地取得費用に係るメリットの可能性等があり、将来需要も見込まれる。	○
スポーツ施設 体育館、プール、陸上競技場、野球場、庭球場 等	市民要望は比較的高く、健康や防災等各種施策との親和性もある。また、大規模土地の活用による行政課題の解消への寄与、用地取得費用に係るメリットの可能性等があり、将来需要も見込まれる。	○

凡 例 ○・・・留保地の活用を検討する必要性が高いと考えられる機能
△・・・現段階では、留保地の活用を検討する必要性が高いとまでは言えないが、今後、検討の必要性が生じる可能性がある機能
×・・・現段階では、留保地の活用を検討する必要性は低いと考えられる機能

第5回 民間主体の機能に係る市の考えへの意見、土地利用目標・方針案に関する検討

平成30年6月21日に開催された第5回協議会では、民間主体の機能に係る市の考えとそれまでの検討の経緯を踏まえた、土地利用目標・土地利用方針イメージを3案示し、ご議論いただきました。

協議会からは、「市外からも人を呼び込み、府中市が活性化する土地利用」、「道路などの交通アクセス」など、3案それぞれに対しご意見をいただきました。



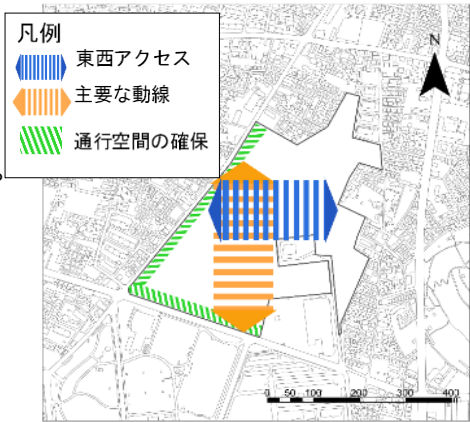
土地利用目標・土地利用方針イメージ

第6回 第2回市民ワークショップ及び民間意見募集実施報告、土地利用目標・方針・整備方針案の検討

平成30年9月18日に開催された第6回協議会では、第2回市民ワークショップと民間意見募集の実施報告を行うとともに、それらを踏まえて具体化した土地利用目標・方針案、共通する整備方針の案を示し、ご議論いただきました。

協議会からは、「市として譲れない部分は明確にし、それ以外は事業者の提案に付き合いながら行うべき」、「公共利用の検討は、公共施設及びインフラマネジメントの考えに基づき、市としてどうしても使いたいものがあるかという視点で検討すべき」、「土地利用目標は、緑は当該地活用の基本となる考え方とし、その上で必要な考え方を盛り込んでいくべき」などのご意見をいただきました。

※第2回市民ワークショップの結果については、府中基地跡地ニュース第3号もご覧ください。



道路・交通ネットワークの整備イメージ

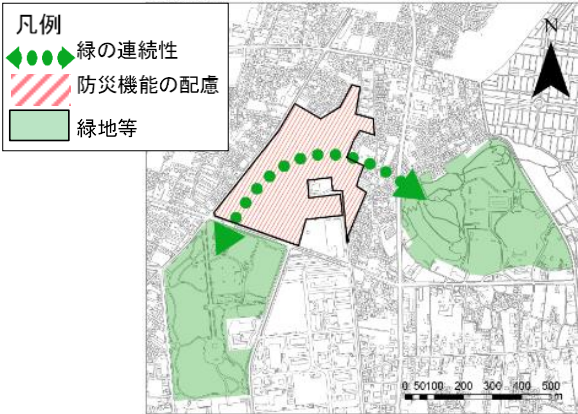
第7回 土地利用目標・方針・整備推進方策に係る検討（継続）

平成30年11月5日に開催された第7回協議会では、土地利用目標・方針案を1つに集約し、実現に向けた整備推進方策について具体的な案を提示しました。また、土地利用開始までの検討イメージ、継続的に検討を進めてきた公共及び民間それぞれの主体の機能に係る市の意見を整理し、提示しました。

協議会からは、「市の施設としての検討は、スクラップアンドビルドを前提として検討すべき」とのご意見や、民間事業者から提案をもらうためには「市が欲しいものは何か、的を絞ると見えてくるのではないか」というご意見、整備開始後も公共と民間が密に連携を図る必要があることから「今後具体的に計画を詰めていく段階では関係者間での協議体を作った方が良い」などのご意見をいただきました。

民間主体の機能に係る市の認識(抜粋)

機 能	第5回協議会に示した市の考え (第5回協議会資料5-4抜粋)	民間主体の機能における市の認識		備考
		期待される効果	克服すべき課題及び配慮を要する事項	
福祉施設				
高齢者施設	市民要望が高く、将来的な需要も高くなることから、民間事業者による導入を期待する。	・高齢化の進行に伴い増加する需要に寄与する	・労働力世帯や若年層の誘致につながらない ・昼間人口の増加へ寄与しない	・H30 民間意見募集において、機能の提案有
保育所	市民要望が高いが、人口減少や少子化等の社会情勢により需要の変動が見込まれるため、土地利用時の需要に応じた民間事業者による提案を	・現時点においては需要に対し不足している供給へ寄与する ・子育て世帯の市内への流入促進につながる	・将来的な人口減少に伴い需要の低下が見込まれる ・住宅に隣接する場合、騒音等の影響が出る恐れがある	・H30 民間意見募集において、機能の提案有



緑地等の整備イメージ

整備推進方策の主な内容

- 土地の利用を考えるにあたっての留意事項
 - ・ 留保地は広大であるため、公民が連携して土地利用を検討できる手法を採用すること
 - ・ 米軍施設については、留保地の土地利用にあたり重大な阻害要因となるため、返還の実現を目指すとともに、一体的な土地利用の検討を行うこと
- 土地を整備するにあたっての留意事項
 - ・ 事業の段階に応じて関係主体を包含する協議体を組織し、有効に活用すること
 - ・ 事業の実施に当たっては、国の補助金を活用するなど、事業全体の費用負担の低減等を検討すること
- 整備した土地を利用するにあたっての留意事項
 - ・ 整備完了後は、留保地全体の価値を高め、持続可能なまちづくりが実現するよう、適切なマネジメント体制を構築すること
 - ・ エリアマネジメントとして、市・市民・民間事業者などの多様な主体が一体となってまちづくりを推進・維持する体制の構築について検討すること。

第8回 答申案についての検討

平成31年1月28日に開催された第8回協議会では、これまでの協議会での議論を踏まえ、「府中基地跡地 留保地における目指すべき土地利用の在り方について」として、答申の形式にとりまとめた案を示しました。また、市が検討を進めている公共主体の機能に係る検討状況を示しました。さらに、当該土地利用意向の状況報告や、地域の皆様から頂いたご意見・ご要望についてご報告しました。

検討協議会からは、小金井街道が2020東京オリンピックのロードレース競技のコースになっているという点も踏まえた「小金井街道の歩行者空間の確保について、暫定措置も含めて検討している状況として記載した方がよい」というご意見や、公共が土地を取得する場合に用途によっては減額が行われる場合があるといった観点から、「公共が整備するメリットが高いものは公共が整備することで民間事業者に対してまちづくりへ寄与しやすい工夫を行うと良い」などのご意見を頂きました。



土地利用の方向性イメージ